

【22_236技術系メルマガ】トレンド・グランビルを軸とした目線決め

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

先日、あるメルマガ読者の方から質問を頂きました。

僕はその日の『トレードの方向』を決める際に、トレンドだけでなく

『H1足のグランビル則』を用いている話を、過去のメルマガ・デイトレ講座で解説しているのですが

「グランビルの法則がイマイチよくわからない」とのことでした。

そこで、僕が実践ベースでどのようにグランビル則を用いているのかを

なるべくシンプルに説明したいと思います。

□
└─ ■ とりあえずグランビルで用いるのは『1～4』まで
└──────────────────────────┘

最初に、図を見て貰う方が話が早いので、簡単な模式図を確認してください。

▼クロのグランビルベースの目線決め(H1足)イメージ▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-08-15.png

解説する人によって解釈が変わったりするので、あくまでこれは『僕の基準』ですが

この模式イメージの中で『今日はG(いくつか)の方向性でトレードする』と自分で決めて

目線を固定します。

これに付け加えて、H4足以上の邪魔なMAや水平線とプライスの位置関係をチェックして

「トレードしたい方向」に向かって邪魔が少なければトレードする。

そして、認識したグランビル軸の目線が違った場合は見送り(若しくは損切り)になります。

結局これも自分の中で認識する値動きの想定に沿って目線を決め、合っていれば利確目標までホールドするし

違ったなら損失が小さいうちに切る、、、という動作を繰り返していきます。

ただし、ここで注意しないといけない事がひとつ。

この目線決めは、あくまで『今、これから値動きがどちらに向かおうとしている』と想定するのか

を考えているだけで、実際その方向にエントリーするかどうかは、『上位の時間足の環境』を見て判断します。

詳しい話は、別途配信している『デイトレ講座(長期環境分析)』の方に預けたいと思いますが

要は、H4足以上の MA もしくは 水平線 が、H1足以下の目線・セットアップ方向に対して“邪魔”になっていないか？

を併せて確認したうえで、エントリーの可否を判断します。

また、それを踏まえたうえでリワードを2狙うのか、3キッチリ狙いに行くのかも併せて決めていきます。

このように、『上位足の環境(目線)』と『下位足のセットアップ』を複合的に見たうえで

その日にトレードする通貨を選択するのが、僕らの仕事です。

その際に『今日、これからどっちの方向にトレードするか?』を決める、『基準の一つ』となるのが

今回ご紹介した『H1足のトレンドと併せて考えるグランビルの規則』となります。

自分が迷わないための『基準づくり』の一候補として活用する、ひとつの選択肢として理解してもらえればと思います。